

シェルター(山形市、木村一義社長)は、同社の木質2時間耐火部材「クールウッド」を使った初の純木造5階建てビルが、新潟市で着工したことを明らかにした。

このビルは5階建てのため建築基準法上、最下層の1階部分は2時間耐火性能が要求される。要求性能を満たすため、同社が開発したクールウッドの2時間耐火部材(間仕切り壁、外壁)を使用。2〜5階は1時間耐火仕様で建設する。構造体はKES構法を採用し

初の木造5階建てビルが着工

2時間耐火構造の共同住宅で

シェルター

で、敷地面積251・39平方メートル、建築面積159・38平方メートル、延べ床面積742・60平方メートル。防火地域で建設され

た。外壁の2時間耐火構造は11月25日に大臣認定を取得している。ビルの施主は大和不

動産(新潟市、眞島哲社長)。建物は共同住宅として建設する「イニエ南笹口」(仮称)

計。最高高は16・89メートル。2017年8月竣工の予定だ。

大和不動産は、新潟県で木造3階建て賃貸

住宅などを商品化し、設計・施工まで行う不動産会社。同県関川村に3万坪の森林を取得し、「森と生きる、木造都市創造」を企業理念に掲げている。

木村社長は「この建物は不動産会社が、共同住宅建設に当たりコストを重視して木造を選択した。経済性、コストで選ばれるようになることで木造需要の拡大が期待できる」と話している。